

生石神社 岡山県神社庁 神社検索システム

由緒

今から1200年～1300年前からこの地区の氏神様であった。奈良時代の神名帳にも残されている。社殿は南北朝末期に建てられた。生石氏は生石八幡宮を氏神様として祀り、また、氏寺、報恩寺を建て、この山に生石城を造った。天正10年(1582)水攻めの時、この山に陣していたのは加藤清正であった。本殿、拝殿、随神門、鐘撞堂は江戸時代初期に改修された。本殿西には靈験あらたかなといわれる生石稻荷大明神があり、社前には靈狐が置かれている。また「生石」の名のもとと言われる大きな柱のような石が生石明神として祀られている性の石とも言われる。明治40年一社一村の「おふれ」がでて、生石地区の神社は矢喰天神社を除いて大正4年この生石神社に全部統合された。



[前の写真へ次](#)

基本情報

神社コード	10044
神社名	生石神社 (オイシジンジャ)
通称名	
旧社格	村社
鎮座地	〒701-1351 岡山市北区門前1
電話番号	
FAX番号	
駐車場	10台
御祭神	応神天皇, 神功皇后, 玉依姫命
御神徳	
主な祭典	4月末の日曜日：春祭 10月第2日曜日：秋祭 1月1日：歳旦祭
宮司宅電話	
URL	
e-mail	
特記事項	
氏子地域	岡山市北区 (下土田、三手、福崎、門前、小山、高塚)

交通アクセス

JR吉備線足守駅北800m。

[検索画面に戻る](#)

